

図書館だより



千葉県立柏高等学校 図書委員会
2018.10.25 発行 No.281
担当 菅間

こんにちはみなさん。テストが終わわり、ほっと一息ついていないでしょうか。比較的暇な時期でもあると思います。こんなときに本を読んで普段とは違う世界や気分や知識に触れるのもいいと思います。

猛暑の夏が終わったのは良いことですが、今年は台風が多いのか雨が続いている気がします。かと思えば冬の寒さを感じます。そのような季節で室内にいる時間も多いでしようし、読書の秋なことからぜひ図書館に来てください。普段あまり利用しない人も、興味を持ったならば来てみてください。

読書週間が始まります。 第72回のテーマは

『ホッと一息、本と一息』



期間は、<10月27日(土)~11月9日(金)>の14日間です。10月27日は文字・活字文化の日です。

「図書委員「ルーで紹介！」

おすすめする本をリレー方式で紹介しているこのコーナーですが、読書の秋と言うことで図書委員によるおすすめの本を普段より多く紹介します。同年代が読んでおすすめしている本、興味があつたら是非借りにきてください。

私は『烏に単は似合わない』と言う本をオススメします。

この作品は阿部智里さんのデビュー作で、史上最年少松本清張賞受賞作です。この本はまるで平安時代のような、また、中国のような八咫鳥の世界を舞台に進んでいきます。人間の代わりに八咫鳥の一族が支配する世界。そこで繰り広げられる金鳥「若宮」の後の座をめぐる四人の女性たちの物語。春夏秋冬を司るようにそれぞれ魅力的な姫君たちが思惑を秘めながらも競い合う。そんな中さまざまな事件が起こり・・・

この本では始め主人公だと思っていた人物が衝撃的な最後を迎えるなど、イレギュラーが続きます。人間ではない。しかし人間と何も変わらない心理。よくよく周りを見てみれば彼女らと同じようなことを胸に秘めている友達がいるかもしれません。そしてそれは、自分かもしれません。

図書委員 松崎



私は青羽悠さんの「星に願いを、そして手を。」を皆さんに薦めたいと思います。

この作品に登場する多くの人物は夢に敗れた人たちです。私たちは成長するにつれ、現実の厳しさを感じることも多くなってきます。誰もがなりたいものになれるわけではありません。才能、家庭環境、いくらでも夢を追いかける中で障害は出てきます。それでも夢のために努力し、あがいているその姿は美しい一勉強に疲れ、自分が分からなくなっている人に読んで欲しい本です。

図書委員 守屋



私がオススメする本は、柚木麻子さんの「BUTTER」という本です。

殺人未遂で逮捕されたが頑なに殺人を認めない女と、その女の素性を取材する雑誌記者の物語です。題のBUTTERにあるとおり、バターのようなドロドロとした人間関係が描かれていて、読んでいくうちに気持ち沈んでいきますが、最後まで読むと気持ちの沈みも無かったことになるくらいスッキリします。

ぜひ読んでみてください!!!

図書委員 江村



今回僕がおすすめする本は有川浩さんの『旅猫レポート』です。

「それじゃ、行こうか」

動物によく好かれる猫バカ人間、宮脇悟と、交通事故をきっかけに悟に飼われることとなった猫、ナナ。一人と一匹は、新たな飼い主を探しに、学生時代の友達の前へ旅にでる。そして、その猫のレポートは終わりへと近づいてゆく・・・この本を読めば、きっとあなたはこの物語に引き込まれていくでしょう。さてここで宣伝ですが、『旅猫レポート』の映画が10月に放映されます。

主演は福士蒼汰さん。丁度いい機会なので、ぜひ読んでください。



私がオススメする本は大槻久さんの『協力と罰の生物学』です。この本では生物、ひいては人は人は何故協力をするのか、罰するののか、また、どのように協力、罰をするようになったのかが、自然淘汰を使って説明されています。

これだけを聞くことと難しそうな本だと思われれるかもしれませんがそんなことはありません。なぜなら、とても短くまとまっていて、わかりやすく面白い例が揃っているからです。この本に載っている協力の例として、コウモリがあります。この血を吸うコウモリは、なんと血を吸うことができなかった仲間に血を分け与えることがあるのです。このような例がたくさん載っていて、本筋についてもわかりやすいです。とても面白いのでぜひ読んでみてください。



図書委員 佐藤

私は、遠藤彩見さんの『給食のお兄さん』

という本を、おすすめします。

コンクールで賞をとれるほどの実力のある主人公が、突然小学校の給食を作ることになり、自分や生徒が抱えている問題や同僚とのいざこざと立ち向かいながら成長していきます。

難しい漢字やまわりくどい表現が少ないので、普段本を読まない人や、読解力のない人でも、ちやんと最後まで読み切れると思います！

図書委員 佐藤



裏面に続く→

私は、松岡圭祐さんの「ミッキーマウスの憂鬱」という本をおすすめします。失敗ばかりで怒られ放り投げられたり、準社員は正社員に差別されて東京ディズニーランドに派遣された後藤大輔は、裏側も楽しい雰囲気「ゆめ」があるものだと思っていた。しかし後藤は失敗続きで、ブラックな裏側を見た。そんな中ある日、突如ミッキーマウスがいなくなり、正社員にいじめられている準社員の藤木恵里が、罪を擦り付けられる。そこで、後藤が取った行動とは！？
ディズニー好きにはたまらない一冊だと思います。
※この物語はフィクションです。

図書委員 河村

私は、アン＝モーガンさんの「私はヘレン」と言う本をおすすめします。

双子のヘレンとエリーは見た目がそっくりでも性格が正反対。天才のヘレンとバカっぽいエリーは面白がって入れ替わってみるが、エリーは絶対に戻りたくないと言いつける。エリーになってしまったヘレンは周りに気付いてもらおうと努力するがエリーの作り話だと思われて誰にも信じてもらえず自分が誰なのかすら分からなくなってしまっている。そのまま1ヶ月、1年が過ぎ、気がついたらヘレンはエリーになってしまっていた。

図書委員 D

私は、末富 晶さんの「不登校でも大丈夫」

と言う本をおすすめします
不登校と言うと、学校に基本的に毎日来ている人からすると「学業は大丈夫なのか」「将来にどう影響するのか」という思いを抱くことでしょう。この本では、小学校の3年生からずっと学校へ行っていないかった筆者の体験を元に、不登校になる理由や不登校者の心のうちなどを赤裸々に語っています。自分のこれからの人生に不安がある方などにオススメの本です。(ただしあくまで一例で、条件によって事情が大きく左右されるといえる事をご承知置きください)

図書委員 神原



新刊案内

『愛なき世界』



三浦 しをん著
植物学研究者をめざす彼女に恋をした洋食屋の見習い陽太。三度の飯よりシロイヌオスナの研究が好きで、職場では見た目も変わっている教授たち囲まれている彼女は、地道な研究一筋で恋愛なんかに興味はなさそう・・・。どうにかしなければ！陽太は結婚にも生殖にも興味がない彼女に「恋の光合成」を起こすことができるのか？

『星空の16進数』

逸木 裕著

ウェブデザイナーとして働く17歳の藍葉は、混沌とした色彩の壁の夢をよく見る。それは当時6歳だった自分が誘拐されたときに見た、おぼろげな記憶。あれはいったい何だったのだろうか？真実を知りたい藍葉は私立探偵のみどりと出会い、誘拐事件の犯人の捜査を依頼する。お互いの個性を理解し合いながら事件の真相に近づくと2人に予想を超えた真実が・・・。

『つかのまのこと』



柴崎 友香著

「わたしのほうが幽霊である、ときづいたのは、早い時期であつたように思う。」かつての住み家であつたのであろう、“この家”を彷徨い続ける“わたし”。その理由がわからなままに時は移り、家には新しい住人が次々とやってくる。彼らを見守り続ける“わたし”は、いったい何を、誰を待っているのか？俳優・東出昌大をイメージして書かれた作品、ステキな写真と共にいかがでしょうか？

君に贈る本（キミ本）大賞結果発表！

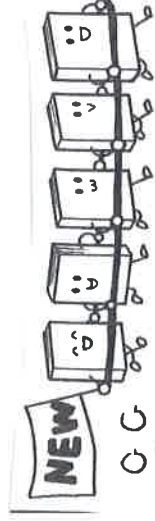
「キミ本大賞」中高生が生涯1冊のホント出会える場所を作ろう、という趣旨で読売中高生新聞が創設した文学賞です。本を推薦しているのは日頃から10代と向き合っている中学高校の先生の皆さんです。今回のテーマは「21世紀を生きたる10代へ」でした。結果は以下の通りです。学校に有る本ばかりですのでぜひ手にとってみましょう。将来の自分に力を与えてくれるかもしれません。

- | | | | |
|-----|---|----|------------------------|
| 1位 | 『君たちはどう生きるか』 吉野源三郎著 | 2位 | 『星の王子さま』 サンテグジュペリ著 |
| 3位 | 『文車日記ー私の古典散歩ー』 田辺聖子著 | 4位 | 『陸王』 池井戸潤著 |
| 5位 | 『嫌われる勇氣』 岸見一郎、古賀史健著 | 6位 | 『二十一世紀に生きる君たちへ』 司馬遼太郎著 |
| 7位 | 『夜と霧』 ヴィクトール・E・フランクル著 | 8位 | 『深夜特急』 沢木耕太郎著 |
| 8位 | 『坂の上の雲』 司馬遼太郎著 | 8位 | 『モモ』 ミヒヤエル・エンテ著 |
| 11位 | 位からは『わたしを探さないで』『天地明察』『生きるほくら』『かがみの狐城』『十二番目の天使』『きみの友だち』など読みやすい本もたくさんあります。ぜひ図書館まで探してみてください。 | | |

ご案内

11月4日(日)にアミュゼ柏クリスタルホールにて

市内中学・高校生知的書評合戦ピリオバトルが開催されます。時間は午後14時からです。高等学校の部では県立柏をはじめ8校の代表が参加し、それぞれの生徒さんがみなさんにぜひ読んで欲しいと思う本を紹介し、興味のある人は当日アミュゼ柏に集合してください。読書好きの方には楽しみな1日になること間違いなしです。詳細は司書荒井まで。



貸出期限の過ぎた本は大至急返却するようお願いいたします！